



## 系統性を意識した指導を大切に

学年	調査項目(新)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1年	伏し浮き	71.4%	<b>71.2%</b>	75.3%
	バブリング	80.9%	85.5%	85.6%
2年	伏し浮き	84.4%	83.2%	<b>82.4%</b>
	ポビング	86.4%	87.5%	84.4%
	け伸び	78.7%	<b>74.4%</b>	73.5%
3年	け伸び	83.8%	80.0%	<b>78.6%</b>
	面かぶりクロール7m	65.9%	61.8%	61.9%
	かえる足	31.6%	<b>29.0%</b>	<b>28.8%</b>
4年	け伸びクロール15m	59.0%	57.2%	56.8%
	け伸び平泳ぎ10m	41.0%	<b>38.0%</b>	<b>35.2%</b>
5年	クロール25m	63.0%	<b>55.2%</b>	54.3%
	平泳ぎ25m	46.4%	<b>45.6%</b>	<b>42.9%</b>
	背浮き10秒	79.4%	76.6%	76.2%
	5分間回泳	46.7%	<b>39.3%</b>	40.8%
6年	クロール25m	74.7%	72.9%	<b>62.4%</b>
	クロール50m	49.6%	48.0%	40.7%
	平泳ぎ25m	59.3%	62.2%	<b>52.5%</b>
	平泳ぎ50m	46.0%	48.4%	<b>41.6%</b>
	背浮き20秒	76.0%	77.6%	69.3%
	10分間回泳	52.9%	52.3%	<b>45.4%</b>
	30分間回泳	50.4%	任意実施	任意実施

### <考察>

「かえる足」・「平泳ぎ」の達成率は年々減少しています。加えて、どの泳法にもつながる「け伸び」の達成率も減少を続けており、80%を下回っています。低学年での「もぐる・深く」動き、中学年での「浮いて進む」動きの積み重ねが、高学年の泳力の向上に不可欠です。今後も6年生までの見通しをもちながら、2年間ごとの系統性を意識した指導が大切になります。

一方で、昨年度と同様、同一集団に着目すると、付けたい力が伸びていることがわかります。先生方が、付けたい力を意識して指導の成果が表れています。本年度は系統表を作成しました。今後も、系統表を活用しながら、系統性を意識した指導をよろしくお願いいたします。

また、今年度は、インストラクターなどの専門的な指導を実施した学校が増え、「クロール25m」や「かえる足」、「平泳ぎ」など、他の項目でも高い達成率となっている学校も見られました。今後、外部講師やインストラクターなどを効果的に活用することも検討してみるといいですね。また、その方々から指導技術を学び、指導力向上に今後も努めていきたいと思います。

### <泳力向上につながった各校の指導法紹介>(令和5年度の実践より)

- ・授業を通してストリームラインを意識して泳ぐように意識させる一貫した指導により、児童の泳ぎの姿勢が整った。(豊岡南小)
- ・中学年におけるかえる足の習得は、水中に入る前に重ねたビート板の上で練習をさせるとイメージをつかみやすかった。(磐田中部小)
- ・Athleteの指導方法(ペンギン歩きなど)を参考にしたり、ビーチサンダルをプールの中で履いたりして平泳ぎのカエル足を練習した。(竜洋東小)